

川でむすぶ

~~~~~ <もくじ> ~~~~~

## <行事案内>

|                          |       |     |
|--------------------------|-------|-----|
| ○平成26年度総会 (5/11)         | ----- | p 1 |
| ○一斉水質調査 (6/8)            | ----- | p 2 |
| ○県内水環境活動団体交流会 (6/21, 22) | ----- | p 3 |
| <事業報告>                   |       |     |
| ○防災講演会                   | ----- | p 4 |
| ○夏井川河口部の利活用ワークショップ       | ----- | p 5 |
| ○会の事業紹介をしました             | ----- | p 6 |

~~~~~

<行事案内1>

平成26年度総会を開催します

当会も平成12年9月に発足以来15年となり、本年度は第16回目の総会を迎えることができました。これも会員の皆様の日頃からのご支援の賜物と感謝申し上げます。大震災・原発事故という未曾有の大災害に遭い、夏井川流域内の自然や社会生活等の様々な側面で、3年が経過した今も大きな影響を蒙っているのが現状です。しかし、そのような制約を踏まえながらも、本会では、活動の大きな目標である「次世代を担う子どもたちの笑顔が見える夏井川」づくりのため、今何をすべきかを考えながら事業展開を図ってきております。

つきましては、現在、夏井川河口部の堤防工事や河口公園等の整備もかなり進んでいる状況を踏まえ、下記の要領で本年度総会を開催したいと思いますので、お忙しい時期かと存じますが、是非ご出席頂きたくご案内申し上げます。

- ◇開催日時：平成26年5月11日（日）午前10時～
- ◇場 所：夏井公民館
- ◇内 容：総会（平成25年度事業報告、決算報告、平成26年度事業・予算等の審議）
→ 懇談会 → 昼食 → 河口公園へ移動。
船・ボートに乗船、河口の活用法等を考える。（午後2時過ぎ解散）



<行事案内2>

流域住民自らが、水辺に接し、水質を調べ、直に夏井川の実態を感じ取り、より豊かな夏井川づくりをめざして実施してきた「夏井川流域一斉水質調査」は、今年で第8回目となります。

今年も下図のチラシにあるような要領で実施します。会員以外の方にも広く参加していただきますよう、本チラシをご活用頂き、広く呼び掛けて頂ければ幸いです。

夏井川流域一斉水質調査

参加者募集!

実施日 **平成26年6月8日(日)午前10時** 一斉に水を採取します!

みんなで川の水質を調べよう!

実施日 **平成26年6月8日(日)午前10時** 一斉に水を採取します!

※この日は「全国一斉水質調査」に合わせて行います。
※雨天の場合は6月14日(土)に順延となります。

● **集合時間・場所** ~ **午前9時、いわき市小川公民館**

※事前申し込みは不要です。当日、直接会場へお越しください。
※現地での採水にも参加を希望される方は午前8時30分まで集合してください。

● **測定地点** ~ 平・小川を中心とする16地点(流域全体27地点)

● **実施すること**

- ★ **水質調査** (CODパックテスト・透視度・においなど)
- ★ **水生生物調査** (川に入って川の生き物を採取・観察します)
- ★ **昨年に続き川底の砂の放射性物質濃度も測定します**



● **参加費：無料**

● **準備するもの**

- ★ **水にぬれても大丈夫な服装・着替えなど**
- ★ **昼食・飲み物等**

問い合わせ先・連絡先

- 橋本 孝一 TEL/FAX: 0246-22-2621 E-mail: khashi0823@hotmail.co.jp
- 村上 繁 TEL: 0246-26-2239 FAX: 0246-27-4366
- 阿部 孝男 TEL: 0246-23-8372 FAX: 0246-25-3744 E-mail: t.abe@azuma-co.co.jp

○ 主催：夏井川流域の会

○ 共催：「夏井川流域住民による川づくり連絡会(下流域)」 「夏井川をきれいにしてみま専科(川前)」

「夏井川上流域連絡協議会(小野町・田村市)」

<行事案内3>

県内水環境活動団体の交流会が開催されます

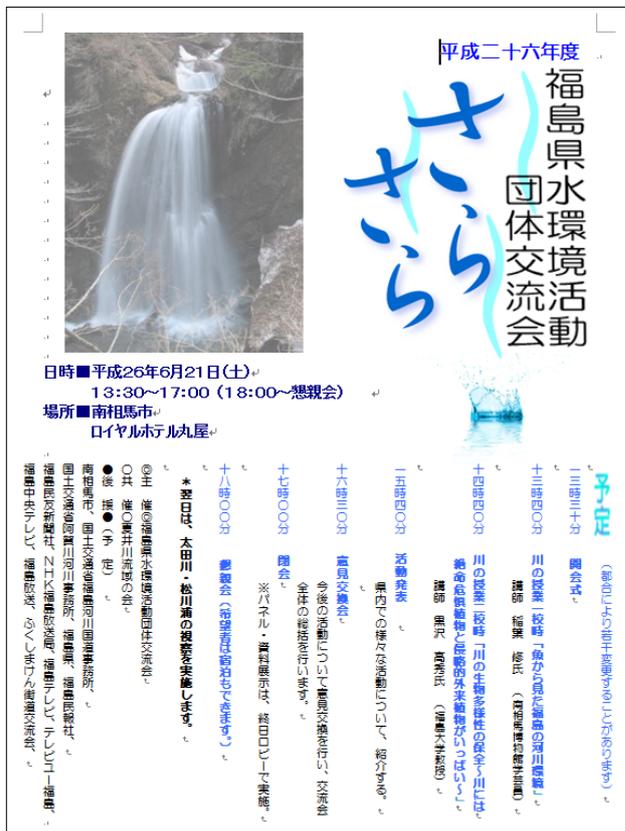
「福島県水環境活動団体交流会」が、今年6月21日（土）、22日（日）の2日間にわたって南相馬市を中心に開催されます。例年、県内各地の団体が参加しお互いの活動内容を発表しあい、交流を深める良い機会になっています。参加ご希望の方、本会担当者までお知らせ下さい。

- 交流会：6月21日 13:30~17:00
ロイヤルホテル丸屋（南相馬）
（内容は、右チラシ）
→ 同会場にて懇親会

- 参加費：交流会のみ参加：無料
 - ・懇親会：6,000円
 - ・懇親会・宿泊：15,000円
 - ・22日松川浦視察参加：3,000円



担当：橋本（電話&FAX：22-2621）



***** お知らせ *****

財団法人福島県下水道公社からの助成を戴けることになりました

財団法人福島県下水道公社から今年度も助成金 20 万円を戴き活動を支援して頂けることになりました。支援事業内容は下記の通りです。より充実した事業展開を図っていけるよう活用させていただきます。

- ①夏井川流域一斉水質調査、
- ②夏井川支流の通日水質調査及び当該地区懇談会、
- ③夏井川上下流の小学生の交流活動
- ④夏井川河口部親水空間でのイベント
- ⑤その他、講演会等。

【事業報告】

瀧本先生の防災講演会

世話人 佐藤雅子

平成26年1月11日、福島工業高等専門学校において、山口大学大学院・瀧本浩一先生の防災講演会が開催されました。瀧本先生は福島県水環境団体交流会で人気の先生ですが、いわきで講演していただくのは初めてです。急遽の日時決定だったので、約50人の参加でしたが、日頃環境問題に取り組んで活動している方々が、先生の防災のお話があまりに面白く実があるので、時間の経つのを忘れて笑い聞き入りました。

先生の話しぶりは迅速かつ内容が豊富なので、メモをとるのも追いつかないほどでしたが、ここに私の簡単なメモからみなさんに紹介してみますので、断片からご推察ください。

- ・2011/3/11の被災地いわきから危機管理の基本を改めて確認。
災害は 1. 予防（被害想定と備え） 2. 応急対応 3. 復旧 であり、現在行われている多くは防災ではなく復旧である。防災は災害前にやること。
- ・自然災害は「幽霊」＝それは普段見えないから気づかない、わかりにくい。
「どこか？」見えないから、危険から回避するには、早めに車のライトを点けるのと同じで、災害図上訓練で幽霊探しをやる。だが、地図は悪夢を知ってはいない。
避難訓練、“机上で検討⇔現場で検証（町歩き）”。
- ・防災は知恵、想定は住民の当面の目標。想定内すらできずに想定外などできない。
- ・歴史から学ぶ、1828年 越後三条地震、1855年 安政江戸地震、1995年 阪神淡路大震災
- ・準備しておいて緊急時の防災アップ、人任せにしないで、イベントの活用などで啓蒙。

瀧本先生のお話はわかりやすく、もっともっと聞きたい、学びたいことばかりで、いわき市の子どもたちはもちろん、たくさんの市民のみなさんに聞いてもらいたいとは、参加者全員の感想でした。

災害は忘れた頃にやってくる、そして近々必ず大きな地震がくると予測されています。

いざという時のために、瀧本先生の教えを忘れないで、日々防災を心がけたいと思います。



【事業報告】

夏井川河口部利活用構想ワークショップの開催について

夏井川河口部は、川とその周辺が一体となった公園が整備され、市民の皆様に親しまれていますが、一方、平成23年3月11日に発生した東日本大震災・津波により、護岸等に大きな被害を受け、現在、その復旧工事や海岸堤防の新設・かさ上げに伴う河川堤防の嵩上げ工事が実施されています。この様な一連の工事を機に、河口部の有するすばらしい環境をさらに活かすことを目的とし、「3.11」の記憶を将来に引き継げる河川防災拠点や学習の場としても利用出来るように、「利活用構想」を策定する考えから、その内容を検討する「ワークショップ」が福島県いわき建設事務所の事務局によって開催されました。

ワークショップは、平成26年1月31日（金）と3月4日（火）の2回開催され、メンバーとして、地元自治会（下大越区、六十枚区）、市民団体（日本野鳥の会いわき支部、いわき市ターゲット・バードゴルフ協会、おはようサイクリングの会）、教育関係者（いわき市夏井小学校、夏井公民館）、いわき市及び当夏井川流域住民による川づくり連絡会の各代表者が参加し、基本方針や利活用構想について、活発に話し合いされました。

基本方針は、「つながろう～川と海がとけあう場所で～」をテーマとして、①河口部の自然環境の保全、②自然環境との共存、③震災の記憶を後世につなぐ、④交流の場となる整備、⑤協働の維持管理を5つの柱とし、利活用構想は、自然と人間との共存や震災の記憶の伝承、維持管理活動等をするための将来的なハード・ソフトの施策が提案されました。

利活用構想には、すぐに実現できないことがたくさんあるため、今後の取り組みに向けては、構想を基礎にして「少しずつ始める」、今回集まったことを契機に、関係者がみんなで取り組めば面白いことができる「みんなでやろう」、具体的には、手始めにこれからの「お互いの活動を連携してやってみる」ことが話し合いされました。

夏井川流域住民による川づくり連絡会としても、今回のワークショップの成果をもとに、参加メンバーと連携した活動を少しずつでも取り組んでいければよいと考えています。



【事業報告】

当会の事業（上下流夏井小学校の交流事業）内容の紹介をしました

平成26年1月19日（日）福島高専において、いわき地域環境科学会主催による第25回発表会の「地域の環境教育の実践」テーマの中で、当会の活動として当会副代表世話人の佐藤雅子さんが「夏井川上下流の小学校を軸とした交流事業」内容の紹介をしました。

発表内容は、平成23年から今年まで継続している小学校交流（上流部の小野町夏井第一小学校といわき市の夏井小学校）の内容を紹介し、環境学習の成果と課題について説明しました。上下流小学校の交流事業は今後も継続していく予定です。

その他の団体からの発表では、高校生による環境活動事例や、いわきの森に親しむ会での「小学校での環境学習支援」の内容紹介やいわき地域他団体の取組み事例など、様々な報告がなされ、参加者全員で環境に対する意識を高めました。



***** <世話人会だより> *****

○毎月一回のペースで世話人会を持っています。目下、総会に向けて準備を進めているところです。今年度の事業をより一層充実するためにも会員の皆さんからの積極的なご提案をお待ちしております。

～～～ 会員の皆様からの御寄稿をお待ちしております。～～～

会報 第34号	2014.4.22
発行：夏井川流域住民による川づくり連絡会	
事務局：〒970-8017 いわき市石森2丁目9-17 永井 精	
Tel.0246-88-7388	